

4 月 4 日



▲詳細についてはこちらをご覧ください。

敦賀発電所 2 号機 運転上の制限の逸脱について

(原子炉補機冷却海水系 A 系のマンホールフランジ部からの海水漏れに対する原因・対策)

2024 年 2 月 26 及び 2 月 29 日にお知らせ済の標記件名について、原因（予定されていない作業の実施及び点検対象機器の誤認）を踏まえ、対策として、各協力会社に対し当日予定されていない作業は実施しないこと、および監督権限を有する作業班長は、作業前に点検対象機器を確認することを注意喚起するとともに、これらを社内規程に反映してまいります。

詳細な内容については、当社ホームページをご覧ください。

げんでんふれあいギャラリー展示

ごうせん

◆剛仙展「龍吟」 4 月 30 日 (火) ～5 月 5 日 (日)

当ギャラリーでは初となる、剛仙 様による絵画作品展です。

「龍神様」、「自然」、「詩画」をテーマにした作品を 132 点展示しています。

かただ くみ こ

◆堅田 久美子植物画作品展 5 月 7 日 (火) ～5 月 12 日 (日)

堅田 久美子 様による植物画作品展です。「花も木も静かにいのちを紡いでいる」をテーマに、2012 年から 2023 年の間に描かれた作品を 100 点展示予定です。

◆PHOTO CLUB「宙」展 2024—自由 気ままに— 5 月 14 日 (火) ～5 月 19 日 (日)

PHOTO CLUB「宙」(代表:木村 多恵子 様) の 10 名の皆さまによる写真作品展です。それぞれの思いを表現した作品を 20 点展示予定です。

◆第 16 回 栗野写真倶楽部 写真展 課題作品「あかり」 5 月 21 日 (火) ～5 月 26 日 (日)

栗野写真倶楽部 (代表:原田 壽 様) の 10 名の皆さまによる写真展です。「あかり」をテーマにした作品と、自由作品を 30 点展示予定です。

◆切り絵教室 葉月会 5 月 28 日 (火) ～6 月 2 日 (日)

切り絵教室 葉月会 (代表:尾上 恵美 様) の 6 名の皆さまによる作品展です。風景や人物など、様々なテーマの切り絵作品を 25 点展示予定です。



◀こちらからげんでんふれあいギャラリーのホームページをご覧ください

お問合せ

げんでんふれあいギャラリー 敦賀市本町 2 丁目 9-16
フリーダイヤル 0120-749-201 FAX 0770-25-5603
開館時間 9:30～16:30 休館日 12 月 29 日～1 月 3 日

イベントブース出展のお知らせ

2024 年 5 月イベント出展情報 お誘いあわせの上、是非お越しください。

日時/イベント名	会 場	内 容
5 月 4 日(土) 10:00～15:30 「きいばす GW フェスタ 2024」	美浜町エネルギー環境教育体験館 「きいばす」 (美浜町丹生 62-1)	・イライラ棒！電車ドキドキ運転ゲーム ・ドローンシミュレーター ・ラジコン重機アメすくい等
5 月 19 日(日) 9:30～15:00 親子のフェスティバル	きらめきみなと館とその周辺	・工作(動物ダンボール貯金箱) ・放射線測定体験
5 月 26 日(日) 10:00～16:00 Tsuruga DEPART	敦賀駅前商店街 駅前大通り	・写真キーホルダー (数量限定のため無くなり次第終了)

本資料のお問合せ先：日本原子力発電株式会社 (略称：げんでん) 敦賀事業本部 立地・地域共生部
TEL:0770-25-5713 住所：敦賀市本町 2 丁目 9-16



2024 年 5 月 1 日
No.237

1. 敦賀発電所の状況 (2024 年 5 月 1 日現在)

プラント (炉型)	状 況
1 号機 (沸騰水型) 	●2017 年 4 月 19 日～廃止措置中 (廃止措置期間：24 年) ○2015 年 4 月 営業運転終了 ○第 6 回定期事業者検査中 (2024 年 3 月 27 日～2025 年 3 月上旬予定) 廃止措置とは、運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し、これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し、更地にするまでの一連の作業・措置のこと。
2 号機 (加圧水型) 	電気出力 116.0 万 kW, 1987 年 2 月 17 日の営業運転開始以降の総発電電力量 1923.0 億 kWh ●2011 年 8 月 29 日～第 18 回定期検査中 ●新規規制基準への適合性確認審査対応中 ○福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全対策を行っています。 = 敦賀発電所 2 号機の新規制基準への適合性確認審査の状況について = 2023 年 8 月 31 日、敦賀発電所 2 号機の原子炉設置変更許可申請の補正書を原子力規制委員会に提出した後、5 回の審査会合が開催されるとともに、12 月 14 日、15 日には 2015 年 11 月の原子炉設置変更許可申請後はじめての現地調査が行われるなど、審査を進めていただいています。 当社は、これまでの審査会合や現地調査で断層の活動性や連続性について説明を行っています。4 月には、原子力規制庁により現地にてボーリングコア等の確認、本店にて薄片等の確認が行われました。今後は、原子力規制委員会からいただいた指摘事項に対する回答を次回審査会合にて行う予定です。引き続き審査に真摯に対応してまいります。 審査状況につきましては、立地自治体をはじめ、地域の皆さまへの積極的な情報提供に努めてまいります。

2. 敦賀発電所 3,4 号機準備工事の状況 (2024 年 5 月 1 日現在)

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理及びコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続しています。



建設予定地の状況 (2024 年 4 月 25 日撮影)



3. トピックス

(1) 2024 年度 新入社員を迎えて敦賀発電所入所式を実施

4月1日、当社本店において2024年度の入社式が行われ、30名の新入社員が『げんでん社員』としての第1歩を踏み出しました。その後、当社東海総合研修センターでの新入社員研修において、社会人としてのビジネスマナーやエネルギー・原子力発電などの基本的な知識の習得、及び現場作業に潜む危険を疑似体験することで安全意識と危険回避能力を育む安全体感教育などの実習を行いました。

敦賀発電所には6名が配属となり、4月15日に行われた敦賀発電所入所式では、寺谷敦賀発電所長から『「安全最優先」、『何事にも積極的に取り組み、高みを目指すこと』、『コミュニケーションを十分取ること』の3点について心に刻んで業務に励んでほしい』との激励を受けた後、真新しい作業服に袖を通した新入社員一人ひとりが力強く抱負を述べました。

新入社員は今後、安全第一で働くための基礎知識や法令・規則に関する教育を受講し、発電所の運転や設備保守、放射線管理等、それぞれの職場で実務を通して学び、敦賀発電所の安全確保の為に業務に緊張感を持って取り組んでまいります。



研修中の新入社員の様子（東海総合研修センター）



敦賀発電所入所式の様子

(2) 敦賀駅前商店街にクリアランス金属再利用品（フラワーポット）を設置

3月20日、当社のクリアランス制度※の社会定着に向けた理解活動の取り組みとして、敦賀駅前商店街振興組合のご理解・ご協力のもと、北陸新幹線敦賀延伸開業、敦賀駅前商店街県道歩道拡幅改修工事の完成を記念しまして、東海発電所（茨城県東海村）のクリアランス金属を再利用して製作したフラワーポット18個を、駅前商店街内のアーケード（車道側の柱）に設置しました。今回のクリアランス金属再利用品の設置に関しては、民間商業エリアでは国内初となります。

今後もクリアランス物を発生させる当事者として、クリアランス制度の社会定着に向けた理解活動に積極的に取り組んでまいります。



敦賀駅前商店街に設置したフラワーポット



※げんでんいふおめーしょんバックナンバー 2022年4月号～2022年10月号に「ご存知ですか？クリアランスVo.1～Vo.7」にてクリアランス制度等について説明しております。

注）2022年8月号のVo.5のクリアランスベンチの展示先に加え、「福井商工会議所」、「福井新聞社 風の森ホール」、「福井県庁 県民ホール」、「敦賀市役所 展示エリア」に新たにクリアランスベンチが設置されています。



バックナンバーは、こちら

4. 敦賀総合研修センター 公開研修コースのお知らせ



◀こちらから敦賀総合研修センターのホームページをご覧ください

敦賀総合研修センターでは、2024年度30コースの公開研修開催を予定しており、以下はお申込み期間近となっている主なコースの内容です。その他の公開研修コースの詳細内容、応募方法ならびに受講料につきましては、当社ホームページをご覧ください。<https://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/>

研修名	研修概要	研修期間	申込み期限
ヒューマンファクターコース	どんなに優秀な人でもヒューマンエラーから逃れることができません。人間の特性を知り、エラーを防ぐ対策を講じることが大切です。本研修ではヒューマンファクターの基礎的知識（人間の基本特性や集団特性など）を理解するとともに、作業時のヒューマンエラーの防止方策を学びます。 ヒューマンエラーとは人に起因する誤りのことであり、人為ミスとも呼ばれます。誰もが起こす可能性があるヒューマンエラーの防止方策を学ぶことはとても有益です。広く一般の方にもお薦めします。 ※2日間のコースですが、1日単位の受講も可能です。	6月19日【基礎】 ～ 6月20日【管理・事例】 (2日間)	5月10日
根本原因分析手法コース	事故やトラブルの原因分析に使われるS A F E R (Systematic Approach For Error Reduction)を理解し、問題の根本的な原因を明らかにする手法を学びます。 本コースで学ぶ手法は原子力産業の現場だけでなく、一般産業のあらゆる場面でも活用できます。	6月26日(P M) ～ 6月27日 (1.5日間)	5月17日
確率論的リスク評価コース	原子力発電所の事故については、様々な事故の発生頻度を確率論的に求め、そのリスクを評価します。この研修では、確率論的リスク評価(P R A)の基礎知識や具体的な評価手法を学びます。 なお、受講者は初歩的な原子力発電所の知識を有していることが望ましい。	7月2日 ～ 7月3日 (2日間)	5月23日
プラントシミュレータコース	原子力発電教育シミュレータを用いて、加圧水型軽水炉(P W R)と沸騰水型軽水炉(B W R)を比較しながらプラント起動操作や原子炉出力変更などの運転操作を模擬体験するとともに、原子力発電所の安全確保の仕組みを学びます。 ※2日間のコースですが、1日単位の受講も可能です。	7月2日【PWR編】 ～ 7月3日【BWR編】 (2日間)	5月23日
原子燃料コース	原子力発電において使用される原子燃料について、ウラン鉱石の採鉱から使用後の処理、処分までの原子燃料サイクルとともに、原子燃料の取扱上、重要な保障措置や使用済燃料の輸送や貯蔵について学びます。	7月4日 (1日間)	5月24日
労働安全衛生コース	従業員や作業員を災害から守るために労働安全衛生法の基礎知識及び安全管理の手法の一つである労働安全衛生マネジメントシステム(O S H M S)について学びます。また、現場作業の危険性を疑似体験することにより安全意識の向上を目指します。 本コースは原子力発電所の作業現場に限らず、一般作業現場においても有益な研修です。	7月8日 ～ 7月9日 (2日間)	5月29日
耐震安全コース	耐震設計の基礎(概論、地震動、新規制基準など)、原子力発電所の建築、土木構造物の耐震設計及びポンプ・容器・配管並びに電気盤などの耐震設計を学びます。 なお、受講者は地震・耐震に関する基礎的な知識を有していることが望ましい。	7月10日 ～ 7月11日 (2日間)	5月31日
原子力安全基礎コース	原子力発電所に関する最新の規制体系、基準を理解するとともに、安全確保の仕組み(安全設計)や事故・トラブル時の評価(安全評価)及び過酷事故時の対策など、原子力の安全に係る事項を学びます。 ※1.5日のコース(1日目:基礎、2日目(A M):過酷事故対策)ですが、どちらかの日だけの受講も可能です。	7月18日 ～ 7月19日(A M) (1.5日間)	6月7日

公開研修に関する
お申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター（敦賀市沓見165号9番地6）
電話：0770-21-9700 FAX：0770-21-9726（研修申込み専用）
メールアドレス：tsuruga-tr-center@japc.co.jp

